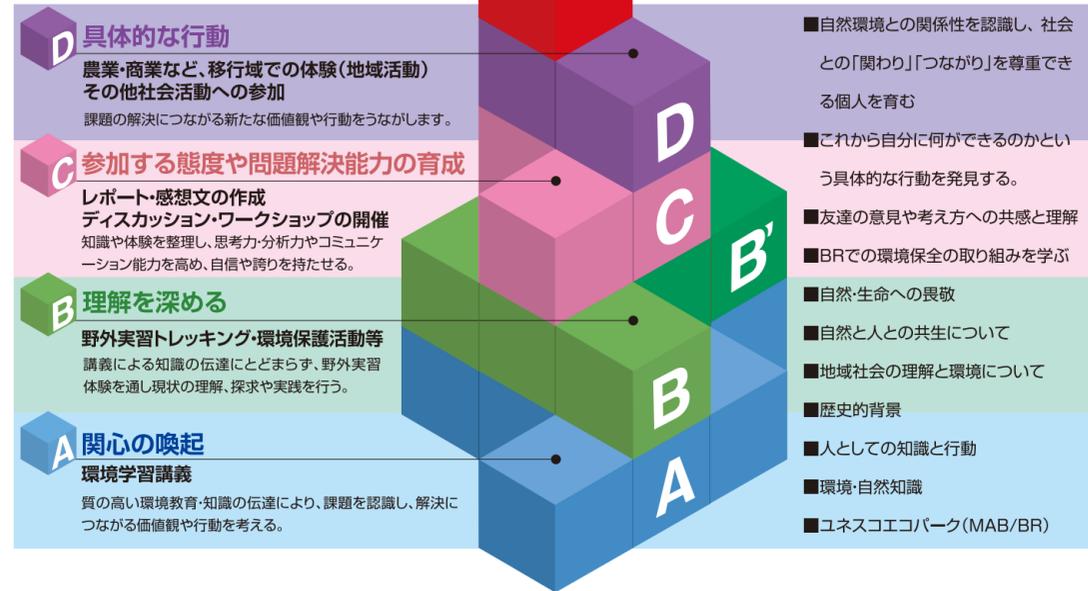


志賀高原ユネスコエコパーク 環境学習プログラムのねらい



志賀高原では環境学習プログラムを通して積み重ねた体験や知識が、将来生徒の皆様が環境・経済・社会活動において、自分に何ができるのかを考えていただけたらと考えています。

持続可能な社会づくりの担い手を育む ESD(持続可能な開発のための教育)



世界で温暖化や自然破壊など、地球環境の悪化が深刻化し、環境問題への対応が人類の生存と繁栄にとって緊急かつ重要な課題となっています。豊かな自然環境を守り、次世代に引き継いでいくためにも子供たちへの環境学習が今重要です。

志賀高原ユネスコエコパーク環境学習プログラムは、人間と自然が共生する志賀高原で、自然に触れることだけにとどまらず、自然環境の保全・共生について知識と体験を基に理解を深め、価値観や、思考力、分析力を高める質の高い学習(持続可能な開発のための教育(ESD))を目指しています。



United Nations
Educational, Scientific and
Cultural Organization



Shiga Highland
Biosphere Reserve since 1980
Man and the Biosphere Programme

志賀高原はユネスコ認定の自然と人間社会の共存を目指す、ユネスコエコパークです。

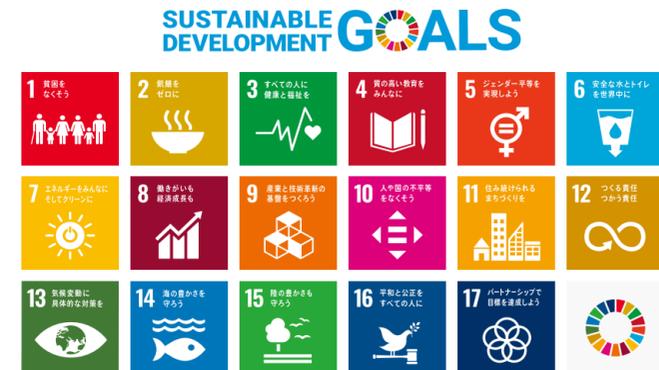
志賀高原ユネスコエコパーク 環境学習プログラム



核心地域「池めぐりコースコース 大沼池」



志賀高原ユネスコエコパーク緩衝地域シノキコース「長野県の天然記念物 しなの木」



※SDGsとは「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」の略称です。
持続可能な開発目標とは、持続可能な開発のための17のグローバル目標と169のターゲットからなる、国連の開発目標。

ESDの考え方
ESDの学習や活動で取り上げるテーマ・内容は必ずしも新しいものではありません。むしろ、それらをESDという新しい視点から捉え直すことにより、個別分野の取組に、持続可能な社会の構築という共通の目的を与え、具体的な活動の展開に明確な方向付けをするものです。また、それぞれの取組をお互いに結びつけることにより、既存の取組の一層の充実発展を図ることを可能にします。

ESDで育みたい力
○持続可能な開発に関する価値観(人間の尊重、多様性の尊重、非排他性、機会均等、環境の尊重等) ○体系的な思考力(問題や現象の理解、多面的かつ総合的なものの見方) ○代替案の思考力(批判力) ○データや情報の分析能力 ○コミュニケーション能力 ○リーダーシップの向上

ESD

現在、世界には、環境・貧困・人権・平和・開発といった様々な地球規模の課題があります。ESDとは、地球に存在する人間を含めた命ある生物が、遠い未来までその営みを続けていくために、これらの課題を自らの問題として捉え、一人ひとりが自分ができることを考え、実践していくこと(think globally, act locally)を身につけ、課題解決につながる価値観や行動を生み出し、持続可能な社会を創造していくことを目指す学習や活動です。つまり、ESDは持続可能な社会づくりの担い手を育む教育です。ESDをより一層推進することが、SDGs※の達成に直接・間接的につながっています。



志賀高原の最新情報満載！お出かけ前にご覧ください。 <https://www.shigakogen.gr.jp/>



■プログラム申し込みは
志賀高原ガイド組合
(志賀高原総合会館98内)
〒381-0401 長野県下高井郡山ノ内町志賀高原蓮池
TEL.0269-34-2133 FAX.0269-34-2480
E-mail:guide@shigakogen.gr.jp

■志賀高原ユネスコエコパークについて
山ノ内町ユネスコエコパーク推進室
〒381-0498 山ノ内町役場観光商工課内
電話0269-33-1107 FAX0269-33-1104

■お問い合わせは
志賀高原観光協会 (志賀高原総合会館98内)
〒381-0401 長野県下高井郡山ノ内町志賀高原蓮池
TEL.0269-34-2404 FAX.0269-34-2344
E-mail:info@shigakogen.gr.jp